

9月3日愛知県立芸術大学施設整備ビジョン検討会 御中

堀越哲美

(日本建築学会東海支部長・名古屋工業大学教授)

今回は、1年前から決定していた会議があり欠席致します。代理として日本建築学会東海支部設計計画委員長の日色真帆愛知淑徳大学教授にご出席いただきます。

前回の議事について会議録案を見て疑問が生じたので意見を申し述べます。音楽学部棟の位置についての議事において、会議録案によれば、

「磯見座長：この場所に新音楽学部棟を建てるということでご同意いただくが、奥村委員から新しい提案があるとのことなので、それが出てきた時に再検討としてよろしいか。

(意見なし)

磯見座長：では、そうさせていただく。あと、議題がもう一つ残っているが、時間の都合上次回に持ち越したいと思う。」

とまとめられています。

ニュアンスがかなり異なるので、これについては私の意見として「必ずしも賛成できない」ということにして頂きたいと思います。他人の発言に手は加えられないと考えられますので。ニュアンスとしては「この辺りの所を建設場所としたい。ただし対案が出た時点で検討する。」と理解しています。「同意する」というような決め方ではなかったと思います。

私としては、奥村委員の案が出てから議論できると考えたため、あえて意見を申し述べなかったが、「音楽学部棟を建てる」ということではないと解釈した。「建てる」この位置を認めることになると、当然それに付随したプランについても、その上で認めることになるので、この時点ではそのようにしたいと思います。